



学校用バスキーボード

# BK2000

取扱説明書

## ごあいさつ

このたびはヤマハバスキーボード BK-2000 をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。  
BK-2000 は、楽器づくりの経験豊かなヤマハが、最新の技術を駆使して開発した画期的な学校用バスキーボードです。  
ご使用にあたりましては、この取扱説明書をご一読のうえ、BK-2000 の機能を充分にご活用いただき、未永くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

## 主な特長

- 1. 美しくクリアな音色**  
音づくりにヤマハ独自の AWM2 音源方式を採用。美しくクリアな音色を実現しました。
- 2. 多彩な音色**  
音色は弦楽器、管楽器、鍵盤楽器、打楽器など 28 種類。さまざまなアンサンブル活動にも大きな効果を発揮します。
- 3. 演奏の幅を広げるキーボードパーカッション**  
37 音色のキーボードパーカッションを採用。ドラム、シンバル、日本太鼓などの打楽器、雷鳴、風の音、鳥のさえずりなどの効果音を鍵盤で演奏できます。
- 4. 豊かな音量**  
アンプは 100W。30cm ウーハーとツイーターの 2 ウェイスピーカーと相まって、背面から豊かな音が響きます。
- 5. MIDI 対応**  
様々な MIDI 対応製品と接続できる MIDI 端子を装備。演奏の幅を広げます。
- 6. 環境への配慮**  
最高レベル (F☆☆☆☆) の低ホルムアルデヒド材を使用しています。従来の製品にも増して環境に配慮した設計です。  
※ F☆☆☆☆とは  
JAS および JIS により、F☆☆☆☆等級から F☆☆☆☆等級までホルムアルデヒド放散量の基準が定められており、F☆☆☆☆はこのうち最も放散量の少ないものを表します。

## 目次

主な特長	1
仕様	2
安全上のご注意	3
各部の名称と機能	5
●コントロールパネル	5
●外部入出力端子	7
MIDI について	8
デモ曲について	8
故障とお考えになる前に	8
MIDI インプリメンテーションチャート	9
保証とアフターサービスについて	10
ヤマハサービスネットワーク	10

## 仕様

音源	AWM2 音源
最大同時発音数	鍵盤演奏8音、MIDI入力32音
鍵盤	37鍵 Cスケール(3オクターブ)
音色	28音色 コントラバス1、コントラバス2、ウッドベース、チェロ、ストリングス、ホルン、チューバ、バストロンボーン、バスクラリネット、バリトンサクソ、ファゴット、イングリッシュホルン、エレキベース1、エレキベース2、シンセベース1、シンセベース2、E.ピアノ、リードオルガン、チャイム、オルガンベース、バスリコーダー、アコーディオン、箏、尺八、ティンパニ、ティンパニロール、マリンバ、マリンバトレモロ
打楽器/効果音音色	37 音色 コンサートバスドラム、クローズドハイハット、バスドラム、オープンハイハット、スネアドラム、フロアタム、ライドシンバル、ミッドタム、クラッシュシンバル、ハイタム、ハンドシンバルショート、ハンドシンバル、スネアドラムロール、クイーカ(低オープン)、クイーカ(高ミュート)、コンガ(低)、コンガ(高)、ビブラスラップ、ボンゴ(低)、ボンゴ(高)、ウインドベル、締太鼓(テン)、日本太鼓、日本太鼓(杵打ち)、鼓(タ)、鼓(ポ)、銅鑼(大)、銅鑼(小)、鐘、雷鳴、波の音、風の音、鳥のさえずり、カッコウ、列車、フィンガースナップ、ハンドクラップ
コントロール	全体音量、鍵盤音量、ピッチ(5点クリック付)、ブリリアンス、サステイン、ビブラート、リバーブ
外部入出力端子	ヘッドホン端子(標準ホーン ステレオ)、外部出力端子(標準ホーン モノラル)、外部入力端子(標準ホーン モノラル)、外部入力ボリューム、マイク入力端子(標準ホーン モノラル)、マイク入力ボリューム、MIDI IN端子、MIDI OUT端子、EXPペダル(標準ホーン ステレオ)
メインアンプ	定格出力 100W
スピーカー	ウーファー: 30cm(8Ω) ツイーター: ソフトドーム(8Ω)
電源電圧	AC 100V 50/60Hz
消費電力	68W
寸法	間口: 71.3cm、奥行: 50.0cm、高さ: 81.7cm
重量	45.2kg
仕上げ	グレーPVCシート貼り
付属品	取扱説明書、保証書

※仕様および外観は、改良のため、予告なく変更する場合があります。

## 安全上のご注意 ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。

注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」と「注意」に区分しています。いずれもお客様の安全や機器の保全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

### 記号表示について

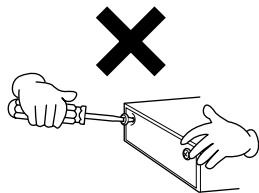
- ⚠ 記号は、危険、警告または注意を示します。
- 🚫 記号は、禁止行為を示します。記号の中に具体的な内容が描かれているものもあります。
- 記号は、行為を強制したり指示したりすることを示します。記号の中に具体的な内容が描かれているものもあります。

\*お読みになった後は、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

### ⚠ 警告 この表示内容が無視した取り扱いをすると、死亡や重傷を負う可能性が想定されます。

- 🚫 この機器の内部を開けたり、内部の部品を分解したり改造したりしない。

感電や火災、または故障などの原因になります。異常を感じた場合など、機器の点検修理は必ずお買い上げの楽器店または巻末のヤマハ電気音響製品サービス拠点にご依頼ください。



- 🚫 浴室や雨天時の屋外など湿気の多いところで使用しない。また、本体の上に花瓶や薬品など液体の入ったものを置かない。

感電や火災、または故障の原因になります。

- 🔌 使用中に音が出なくなったり異常なおいや煙が出た場合は、すぐに電源スイッチを切り電源プラグをコンセントから抜く。

感電や火災、または故障のおそれがあります。至急、お買い上げの楽器店または巻末のヤマハ電気音響製品サービス拠点に点検をご依頼ください。

- ⚡ 電源は必ず交流 100V を使用する。

エアコンの電源など交流 200V のものがあります。誤って接続すると、感電や火災のおそれがあります。

- 🔌 (アース付き電源プラグの場合) アース線を確認に取り付ける。

感電のおそれがあります。(アース線の取り付け方については付属の取扱説明書をご参照ください。)



- ⚡ 手入れをするときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。

また、濡れた手で電源プラグを抜き差ししない。

感電のおそれがあります。

- 🔌 電源プラグにほこりが付着している場合は、ほこりをきれいに拭き取る。

感電やショートのおそれがあります。

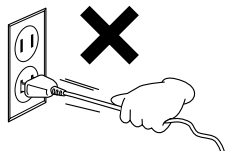
### ⚠ 注意 この表示内容が無視した取り扱いをすると、傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定されます。

- 🚫 電源コードをストーブなどの熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、傷つけたりしない。また、電源コードに重いものをのせない。

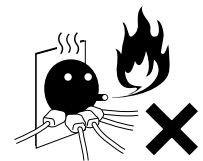
電源コードが破損し、感電や火災の原因になります。

- ⚡ 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに、必ず電源プラグを持って引き抜く。

電源コードが破損して、感電や火災が発生するおそれがあります。



- 🚫 タコ足配線をしない。コンセント部が異常発熱して発火したりすることがあります。



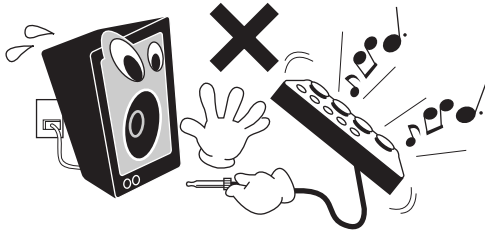
- 🚫 電源コードやプラグがいたんだときは使用しない。また、長期間使用しないときや落雷のおそれがあるときは、必ずコンセントから電源プラグを抜く。

感電、ショート、発火などの原因になります。

**注意** この表示内容を見逃した取り扱いをすると、傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定されます。

- ❗ 他機器と接続する場合は、すべての機器の電源を切った上で行う。また、電源を入れたり切ったりする前に、必ず機器のボリュームを最小 (0) にする。

感電または機器の損傷のおそれがあります。



- ⊘ 直射日光のあたる場所（日中の車内など）やストーブの近くなど極端に温度が高くなる場所、逆に温度が極端に低い場所、またほこりや振動の多いところで使用しない。

本体のパネルが変形したり内部の部品が故障したりする原因になります。

- ⊘ テレビやラジオ、スピーカーなど他の電気製品の近くで使用しない。

デジタル回路を多用しているため、テレビやラジオなどに雑音が生じる場合があります。



- ⊘ 不安定な場所に置かない。
- 機器が転倒して故障したり、お客様がけがをしたりする原因になります。

- ❗ 本体を移動するときは、必ず電源コードなどの接続ケーブルをすべて外した上で行う。
- コードをいためたり、お客様が転倒したりするおそれがあります。

- ❗ 本体を移動する時には必ずストッパーを外し、大人が2人以上で移動すること。また、平らな面以外は持ち上げて移動すること。
- 本体が転倒して故障したり、お客様がけがをしたりする原因になります。

※ BK-2000 の重量は 45.2kg です。移動時の取り扱いには充分ご注意ください。

- ⊘ 本体を手入れするときは、ベンジンやシンナー、洗剤、化学ぞうきんなどは絶対に使用しない。また、本体上にビニール製品やプラスチック製品などを置かない。

本体のパネルや鍵盤が変色 / 変質する原因になります。お手入れは、柔らかい布で乾拭きしてください。

- ⊘ 本体の上に乗ったり重いものをのせたりしない。また、ボタンやスイッチ、入出力端子などに無理な力を加えない。

本体が破損する原因になります。

- ⊘ 本体を使用しない場合、または演奏中は必ずキャスターのストッパーをかけておくこと。

- ⊘ (スタンドやラックを使用する製品の場合) 指定のスタンド / ラック以外は使用しない。また、取り付けには必ず付属のネジを使用する。

本体が転倒し破損したり、内部の部品を傷つけたりする原因になります。

- ⊘ (放熱ファンや放熱用スリット付きの製品の場合) 本体の放熱ファンや放熱用スリットに本などを置いて、ふさがない。(エレキトーンやクラビノーバの場合) 本体を壁につけない。

換気が十分でないと、本体内部に熱がこもり、火災が発生するおそれがあります。

- ⊘ 大きな音量で長時間ヘッドフォンを使用しない。

聴覚障害の原因になります。



- ⊘ (バックアップバッテリー [リチウム電池] が内蔵された製品の場合) バックアップバッテリーは自分で交換しない。

感電や火災、または故障などの原因になります。バックアップバッテリーの交換は、必ずお買い上げの楽器店または巻末のヤマハ電気音響製品サービス拠点にお申し付けください。

- ⊘ バックアップバッテリーを子供の手の届くところに置かない。
- お子様が誤ってバックアップバッテリーを飲み込むおそれがあります。

- ❗ (フロッピーディスクドライブが内蔵された製品の場合) 作成したデータはこまめにフロッピーディスクに保存する。

作成したデータは、故障や誤操作などのために失われることがあります。大切なデータは、必ずフロッピーディスクに保存することをおすすめします。

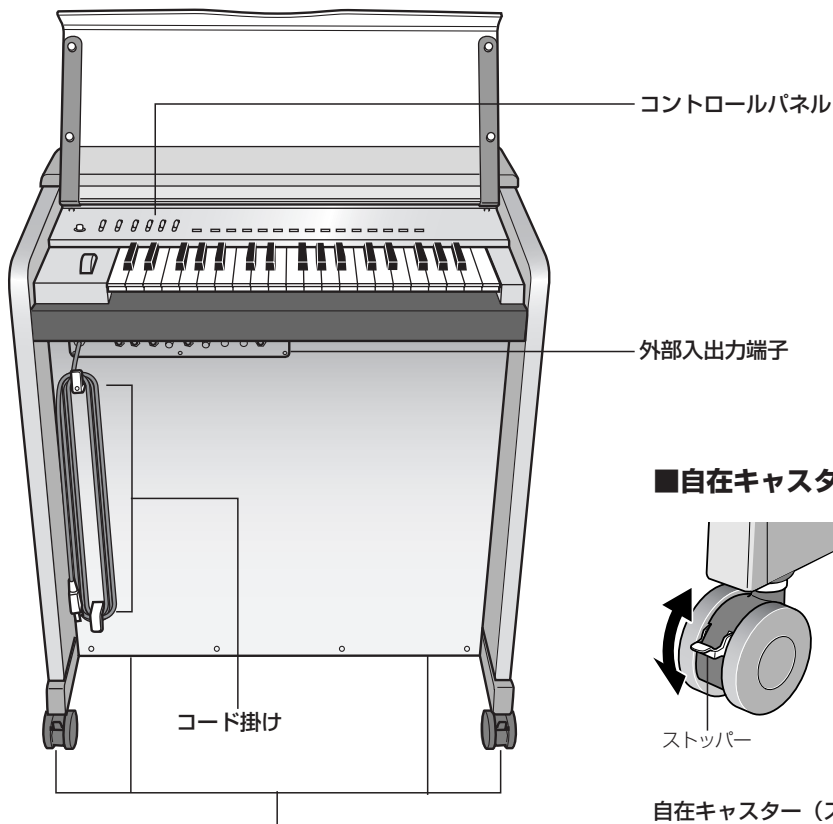
- (フロッピーディスクドライブが付いていない製品の場合)

作成したデータは、故障や誤操作などのために失われることがあります。大切なデータはヤマハ MIDI データファイラー MDF2 などの外部機器に保存されることをおすすめします。

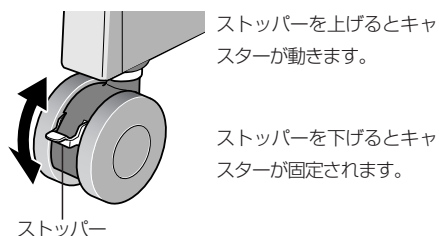
不適切な使用や改造により故障した場合の保証はいたしかねます。また、データが破損したり失われたりした場合の保証はいたしかねますので、ご了承ください。

長時間使用しないときは、必ず電源を切りましょう。

# 各部の名称と機能



## ■自在キャスター（ストッパー付）

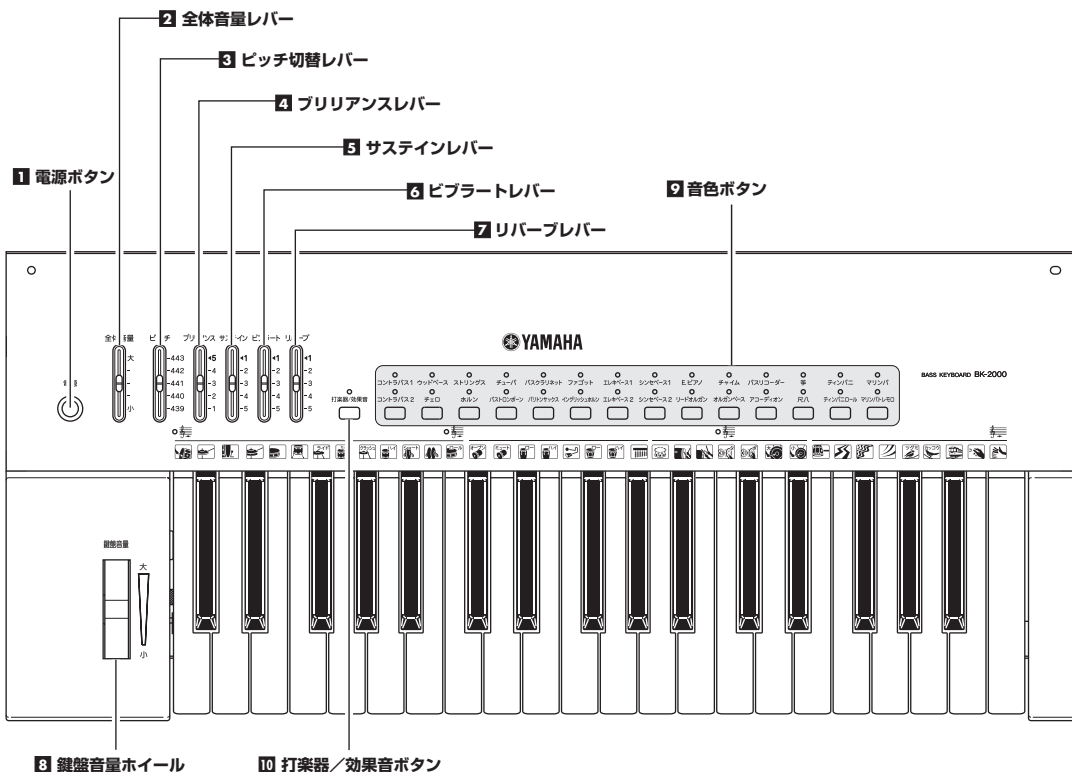


ストッパーを上げるとキャスターが動きます。

ストッパーを下げるとキャスターが固定されます。

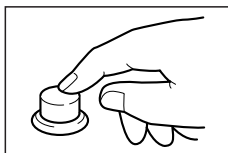
自在キャスター（ストッパー付）× 2（前）  
自在キャスター（ストッパー無）× 2（後）

## ■コントロールパネル



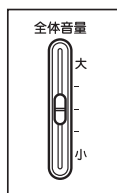
## 1 電源ボタン

電源ボタンを押し込むと、電源ランプと音色スイッチの[コントラバス1]のランプが点灯します。バスキーボードは、これで演奏可能な状態になります。



## 2 全体音量レバー

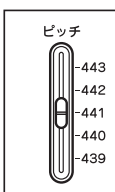
スピーカーから出る全体の音量をコントロールするレバーです。マイク入力や外部入力にマイクや他の電子楽器を接続している場合、それらの音も含めて全体の音量をコントロールします。



## 3 ピッチ切替レバー

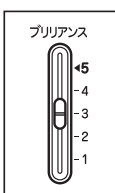
音の高さを調節するレバーです。ピッチの範囲は、A = 439Hz (ヘルツ) から 443Hz (ヘルツ) で、通常は 442Hz (ヘルツ) のところにレバーをセットします。

音色ボタンの[バスリコーダ]と[箏]を押しながら電源を入れると、一番下が 436Hz、一番上が 440Hz になります。音色ボタンの[ティンパニ]と[マリンバ]を押しながら電源を入れると、一番下が 442Hz、一番上が 446Hz になります。



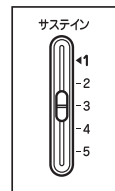
## 4 ブリリアンスレバー

音の明るさを調節するレバーです。ブリリアンスの範囲は 1 から 5 で、5 の位置にした音が基本の音です。レバーを上へスライドさせると明るい音になり、レバーを下へスライドさせるほど、落ち着いた音になります。



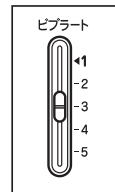
## 5 サステインレバー

鍵盤から指を離れたあと、音に余韻を持たせる効果です。サステインの範囲は 1 から 5 で、1 の位置にした音が基本の音です。レバーを下へスライドさせるほど、余韻が長く残ります。



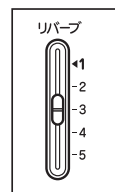
## 6 ビブラートレバー

音が揺れる効果を加えます。ビブラートの範囲は 1 から 5 で、1 の位置にした音が基本の音(効果なし)です。レバーを下へスライドさせるほど、揺れる効果が大きくなります。



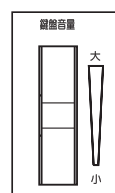
## 7 リバーブレバー

ホールで演奏しているような残響を持たせる効果です。リバーブの範囲は 1 から 5 で、1 の位置にした音が基本の音(効果なし)です。レバーを下へスライドさせるほど、残響が大きくなります。



## 8 鍵盤音量ホイール

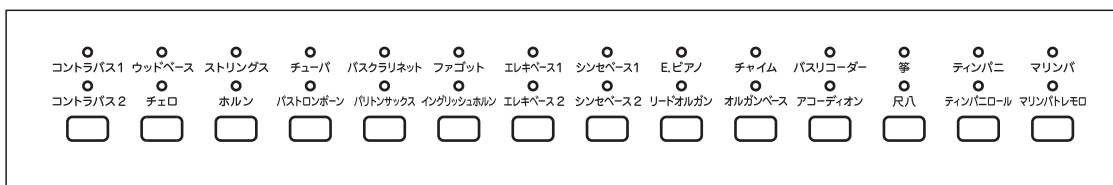
鍵盤の音量をコントロールするホイールです。ホイールを上へ回すほど音は大きくなります。



## 9 音色ボタン

音色を選ぶボタンです。ボタンを押すとボタンの上にあるランプが点灯します。BK-2000 は、弦楽器、管楽器、鍵盤楽器、打楽器などの 28 種類の音色を持っています。一つのボタンには上下 2 種類の音色が割り当てられています。上(もしくは下)のランプが点灯しているボタンを押すと下(もしくは上)の音色が選ばれます。別のボタンを押すとそのボタンの上(もしくは下)の音色が選ばれます。

音色によって演奏できる音域が違います。鍵盤の上のランプによって C3 (中央八) を表示します。ランプが消えている音色は、右端の鍵盤が C3 です。



### 音色一覧

音色番号	音色名
1	コントラバス1
2	コントラバス2
3	エレキベース1
4	シンセベース1
5	ストリングス
6	バスクラリネット

音色番号	音色名
7	ファゴット
8	チューバ
9	E.ピアノ
10	チャイム
11	マリンバ
11	マリンバトレモロ

音色番号	音色名
12	ティンパニ
13	ウッドベース
14	チェロ
15	ホルン
16	バストロンボーン
17	バリトンサクソ

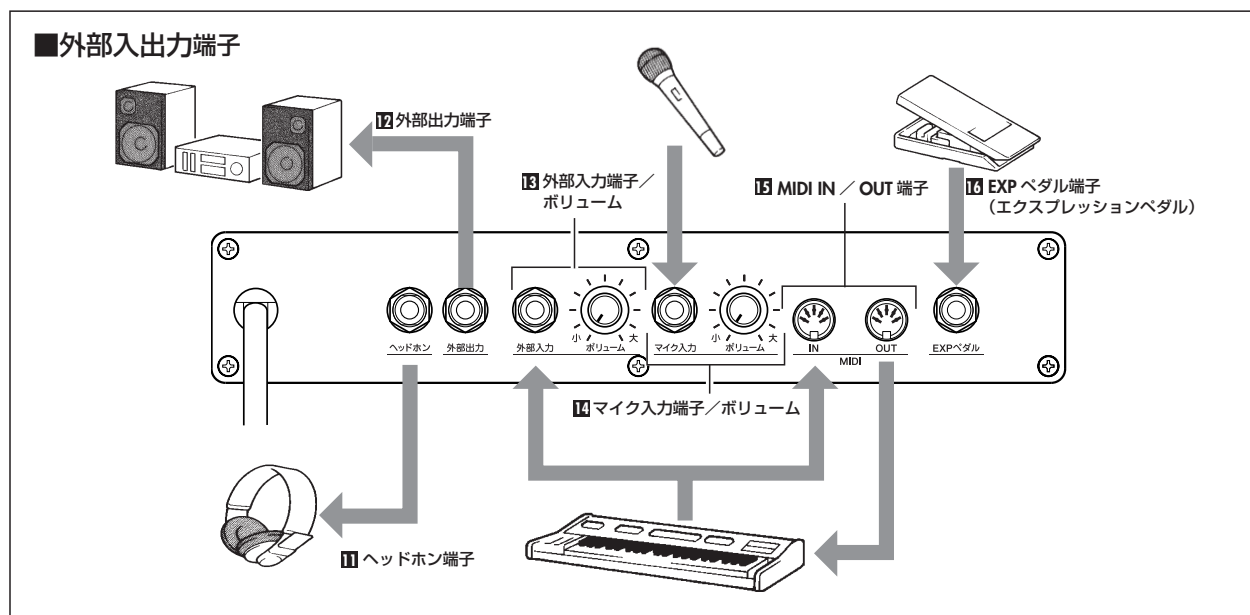
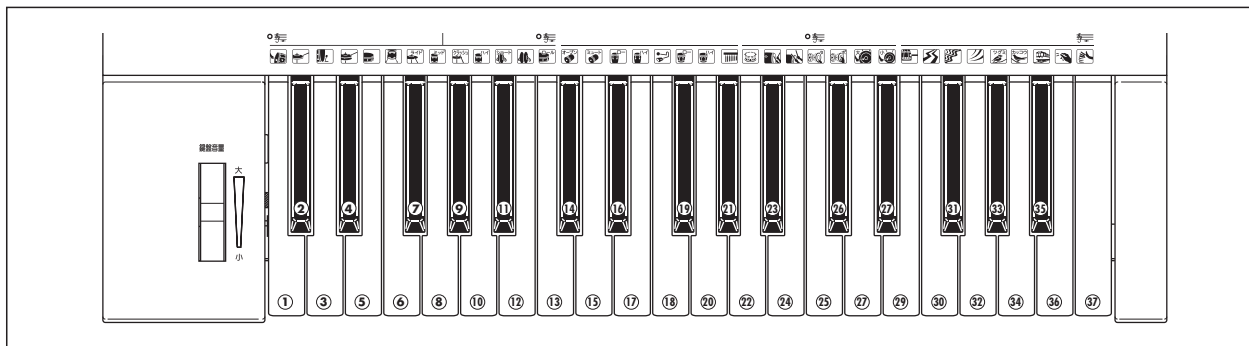
音色番号	音色名
18	イングリッシュホルン
19	エレキベース2
20	シンセベース2
21	リードオルガン
22	オルガンベース
23	バスリコーダー

音色番号	音色名
24	アコーディオン
25	箏
26	尺八
27	ティンパニロール

## 10 打楽器／効果音ボタン

打楽器 / 効果音ボタンを押すとボタンの上のランプが点灯し、キーボードパーカッションの演奏が可能になります。鍵盤 C0 ～ C3 に鍵盤上のイラストの打楽器 / 効果音が割り当てられます。キーボードパーカッションはドラム、シンバル、日本太鼓、風の音など 37 種類の音色を持っています。

1 コンサートバスドラム	6 フロアタム	11 ハンドシンバルショート	16 コンガ(低)	21 ウインドベル	26 鼓(ホ)	31 波の音	36 フィンガースナップ
2 クローズドハイハット	7 ライドシンバル	12 ハンドシンバル	17 コンガ(高)	22 締太鼓(テン)	27 銅鑼(大)	32 風の音	37 ハンドクラップ
3 バスドラム	8 ミッドタム	13 スネアドラムロール	18 ピラスラップ	23 日本太鼓	28 銅鑼(小)	33 鳥のさえずり(ツグミ)	
4 オープンハイハット	9 クラッシュシンバル	14 クイーカ(低オープン)	19 ボンゴ(低)	24 日本太鼓(粹打ち)	29 鐘	34 カッコウ	
5 スネアドラム	10 ハイタム	15 クイーカ(高ミュート)	20 ボンゴ(高)	25 鼓(タ)	30 雷鳴	35 列車	



### 11 ヘッドホン端子(標準ホーン ステレオ)

ヘッドホンを接続する端子です。ヘッドホン使用時には、バスキーボード本体のスピーカーからは音が出なくなります。

### 12 外部出力端子(標準ホーン モノラル)

MDレコーダーやカセットデッキに接続して、演奏を録音したり、PAシステムなどに接続して、より迫力のあるサウンドを楽しむこともできます。

### 13 外部入力端子(標準ホーン モノラル)／ボリューム

他の電子楽器の音をバスキーボードのスピーカーから出したいときに使います。ボリュームのつまみを右へ回すほど音は大きくなります。

### 14 マイク入力端子(標準ホーン モノラル)／ボリューム

マイクの音をバスキーボードのスピーカーから出したいときに使います。ボリュームのつまみを右へ回すほど音は大きくなります。

### 15 MIDI IN／OUT端子

MIDI(Musical Instrument Digital Interface)は、デジタル電子楽器の世界統一規格です。MIDIケーブルを使って、学校用オルガン、シンセサイザーやシーケンサーなどと接続すれば、多様な活用ができます。

### 16 EXPペダル(エクスプレッションペダル)端子

フットコントローラー FC7をつないで、鍵盤音量の調整ができます。(鍵盤音量ホイールは使えなくなります。)



## MIDI について

本機の MIDI 送信チャンネルは、7 と 10、固定です。

通常の音色が選択されている場合は 7 チャンネル、打楽器／効果音が選択されている場合は 10 チャンネルとなります。

また、受信チャンネルは、7 と 10 です。7 チャンネルの場合は、通常の音色が演奏されます。プログラムチェンジ(音色番号)は、P.6 の表の通りです。10 チャンネルの場合は、打楽器／効果音が鳴ります。10 チャンネルの音色は、変更できません。

音色ボタンの[E. ピアノ]と[チャイム]を押しながら電源を入れると、マルチモードとなり、1～16 の全てのチャンネルを受信します。10 チャンネルは、打楽器／効果音、それ以外のチャンネルは、通常の音色となります。

## デモ曲について

本機は、デモ曲を内蔵しています。

音色ボタンの[エレキベース 1]と[シンセベース 1]を押しながら電源を入れると、デモ曲が自動的に再生されます。曲が最後まで再生されると、再び最初に戻ります。

いずれかの音色ボタンを押すと、演奏は停止し、通常の使用状態になります。

デモ曲で、BK-2000 の高品位な音色をご確認ください。

## 故障とお考えになる前に

- 1. スイッチを入れると約 2 秒後にカッチンと音がする。**  
バスキーボードが作動し、音を出す準備ができた時に起こる音ですのでご心配ありません。
- 2. 時々雑音が入る。(ガリッとかポツンという雑音)**  
電気器具の電源の入・切時、また、市街地のネオンサインの故障、電気ドリルなどがバスキーボードに影響することがあります。このようなときには原因と思われる機器からなるべく離れたコンセントを使ってみてください。
- 3. 音が割れる。(共鳴する、あるいはビリつく)**  
持続音の多い音を選んだ場合、バスキーボードの音は低音が多いため周囲の戸棚、窓ガラス、その他の器物に共鳴して音が割れて聞こえることがあります。このようなときには音量を小さくするか共鳴物を取り除くようにしてください。
- 4. テレビ、ラジオ、アマチュア無線等の電波が入る。**  
近くに大出力の放送局やアマチュア無線局があるとき、バスキーボードに影響する場合があります。

# MIDI インプリメンテーションチャート

YAMAHA [ Bass Keyboard ]  
Model BK-2000

## MIDI Implementation Chart

Date:01-JUN-2004  
Version: 1.0

Function		Transmitted	Recognized	Remarks
Basic Channel	Default Changed	7, 10 *1 ×	7, 10 *1 1-16	
Mode	Default Messages Altered	3 × *****	3 × ×	
Note Number	True Voice	24-96 *****	24-96	
Velocity	Note ON Note OFF	○ 9nH, v=80, 112 × 9nH, v=0	○ v=1-127 ×	
After Touch	Key's Ch's	× ×	× ×	
Pitch Bend		×	○	
Control Change	0, 32 1, 5, 7, 10, 11 6, 38 64-67 71-74 84 91, 93, 94 96-97 98-99 100-101 120 121	× 1, 7, 11 ○ 5, 10 × × × 72, 74 ○ 71, 73 × × 91 ○ 93, 94 × × × × × ×	× 1, 7, 11 ○ 5, 10 × × × 72, 74 ○ 71, 73 × × 91 ○ 93, 94 × × × × × ×	Bank Select Data Entry Sound Controller RPN Inc, Dec NRPN LSB, MSB RPN LSB, MSB All Sound Off Reset All Cntrls
Prog Change	True #	○ 0-26 *****	○ 0-26	
System Exclusive		×	○	
System Common	Song Pos. Song Sel. Tune	× × ×	× × ×	
System Real Time	Clock Commands	× ×	× ×	
Aux Messages	Local ON/OFF All Notes OFF Active Sense Reset	× × ○ ×	× ○ ○ ×	
Notes	*1 Ch.10は打楽器/効果音			

Mode 1: OMNI ON, POLY  
Mode 3: OMNI OFF, POLY

Mode 2: OMNI ON, MONO  
Mode 4: OMNI OFF, MONO

○ : YES  
× : NO

# 保証とアフターサービスについて

## 1. 保証

当製品の保証は、保証書によりご購入日から満1ヶ年です。尚、現金、クレジットなどによる保証の区別はいたしません。また、保証は日本国内のみ有効といたします。

## 2. 保証書

当製品納入の際、保証書内へ必要事項記入のうえ、発行致しますので記載事項をご確認ください。

## 3. 保証書は大切にしましょう！

保証書は弊社が当製品をご購入いただいたお客様にご購入の日から向う1年間の無料修理をお約束申し上げるものです。万一紛失なさいますと保証期間中であっても実費をいただく場合がございますので、必要に応じていつでもご提示いただけますよう保管してください。また、後々の修理に際しての機種判別やサービス依頼店の確認にご利用いただけますので、保証期間が過ぎましても大切に保管ください。

## 4. 保証期間中の修理

保証期間中に万一故障が発生した場合には、お買い求めいただいた楽器店にご連絡ください。

## 5. 保証期間経過後の修理

満1ヶ年の保証期間が切れますと修理は有料となりますが、引続き責任をもって修理をさせていただきます。補修性能部品（製品本来の機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は製造打切後8年となっております。

## 6. 修理をご依頼になる前に

1. コンセントに電気が来ているかどうか、他の電気製品を接続してお確かめください。
2. ご依頼いただいた修理にお伺いした際、故障でないような場合には、点検料と出張経費などの実費をいただきます。

## 7. 修理のお約束について

1. できるだけお伺いする日時を事前にお約束させていただきます。
2. 万一お約束した日時がご都合の悪い時には、できるだけ早く修理をご依頼されたお店にご連絡ください。
3. 修理ご依頼後、日時が経過してもなお技術者がお伺いしない場合はお手数でも右記サービス拠点までご連絡ください。責任をもって処理させていただきます。

# ヤマハサービスネットワーク

全国のヤマハ特約楽器店と下記サービスセンターが責任をもってアフターサービスを行っております。

## ■ヤマハ電気音響製品サービス拠点（修理受付および修理品お持込み窓口）

北海道サービスステーション	〒064-8543	札幌市中央区南10条西1-1-50	ヤマハセンター内	Tel	011-512-6108
仙台サービスステーション	〒984-0015	仙台市若林区卸町5-7	仙台卸商共同配送センター3F	Tel	022-236-0249
首都圏サービスセンター	〒143-0006	東京都大田区平和島2-1-1	京浜トラックターミナル内14号棟A-5F	Tel	03-5762-2121
浜松サービスステーション	〒435-0016	浜松市和田町200	ヤマハ(株)和田工場内	Tel	053-465-6711
名古屋サービスセンター	〒454-0058	名古屋市中川区玉川町2-1-2	ヤマハ(株)名古屋流通センター3F	Tel	052-652-2230
大阪サービスセンター	〒565-0803	吹田市新芦屋下1-16	ヤマハ(株)千里丘センター内	Tel	06-6877-5262
四国サービスステーション	〒760-0029	高松市丸亀町8-7	(株)ヤマハミュージック神戸 高松店内	Tel	087-822-3045
九州サービスステーション	〒812-8508	福岡市博多区博多駅前2-11-4		Tel	092-472-2134
[本社] CSセンター	〒430-8650	浜松市中沢町10-1		Tel	053-465-1158

## ■製品に関するお問い合わせ窓口（営業窓口）

国内楽器営業本部 管弦打学校営業部	〒108-8568	東京都港区高輪2-17-11	Tel	03-5488-1686
----------------------	-----------	----------------	-----	--------------

## ■製品の操作・お取り扱いに関するお問い合わせ窓口

管弦打楽器 インフォメーションセンター	Tel : 053-411-4744 受付日 : 月曜日～土曜日(祝日およびセンターの休業日を除く) 受付時間 : 10:30～19:00 <a href="http://www.yamaha.co.jp/supportandservice/index.html">http://www.yamaha.co.jp/supportandservice/index.html</a>
------------------------	--

※記載されている事項は予告なく変更されることがあります。

 ヤマハ株式会社



この取扱説明書は  
エコパルプ(EOF: 無塩素系漂白パルプ)を  
使用しています。



この冊子は大豆油インクで  
印刷しています。